インジケーターの紹介

手法を解説する前に SATAN2 で使用しているインジケーターをご紹介いたします。

まずは以下の画像をご覧ください。

①の矢印はこの手法の肝となるエントリーサインです。
矢印が出現しローソク足が確定したらエントリーしてください。

サインが出現するとカウントダウンタイマーがチャートの右上に出現します。

自動売買ソフトを連動させている場合は、サイン確定と共にエントリーします。

※黄色の矢印がエントリーで勝ったサインで赤が負けのサインとなります。

②は画像では分かりにくいですが、チャートに表示されている縦線です。

これは経済指標の発表時間に自動的に線が引かれています。

経済指標の発表前後というのは相場を読むのが難しいので、
パラメーター設定で経済指標発表の前後のサインを停止することができます。

③はチャート時間と通貨ペア切り替えボタンです。

新規にチャートを開くことなく、現在のテンプレートを適用したまま、通貨ペアが切り替えられる非常に便利なボタンです。

チャートの時間切替も可能ですが、SATAN2 のオススメは 5 分チャートです。

※自動売買ソフトと連動済の場合はこのインジケーターで切り替えてしまうと切替先の通貨ペアでエントリーしてしまうことがあるので、ご注意ください。

④は日本時間を表示しています。

⑤は矢印の次のローソク足に黄色の◯と赤の✖についてです。

この説明をする前にマーチンゲールの法則について説明させていただきます。

【マーチンゲールについて】

マーチンゲールの法則とは、一体どのような投資方法なのか紹介していきます。

マーチンゲール投資法とは、「負け投資となった次の取引で投資額を単純に倍増させていくことにより、勝った時に負け分を帳消しにして更に利益を出す」と言うものです。

分かりやすく説明すると、このマーチンゲール投資法というのは、負けた時に次のエントリーでは先程のエントリーの倍の金額を投資するという手法です。

では、実際にマーチンゲールに従い資産運用をしたとするならば、どのように資産が推移していくのでしょう？

ペイアウト率を２倍として、1000 円で投資を始めたと仮定します。

連敗数	1	2	3	4	5	6
投資額(円)	1000	2000	4000	8000	1,6000	3,2000
投資合計(円)	1000	3000	7000	1,5000	3,1000	6,3000
連敗確率	50%	25%	12.5%	6.25%	3.13%	1.56%
勝利損益(円)	1000	1000	1000	1000	1000	1000

特に注目して頂きたいのは**「勝利損益」**です。

「勝利損益」を見て頂けると全ての欄が「1000」で埋まっていますが、これは 1000 円、つまり、どんなに負けた後でも、1 回勝てば 1000 円のバックが戻ってくると言う事になります。

２回目で勝っても５回目で勝っても利益は同じ金額です。

「投資合計」を御覧ください。

負ければ倍額のエントリーですので、投資額が大きくなるリスクがあります。

当然負ければ利益は 0 円で投資額も戻ってきません。

つまり、１回のマーチンゲールでの損失は

１回目のエントリー(1000 円)＋２回目のエントリー(2000 円)←マーチンゲール１回の合計 3000 円の損失となります。

５回マーチンゲール(倍掛け)をして負けると 63000 円の損失となります。

「連敗確率」を御覧ください。

これをみていただけると分かりますが、５回のマーチンゲール(倍掛け)で負ける可能性は 1.56%です。

つまり、98.44%勝てるということにもなります。

確率上の話なので、実際はそんなに上手くいきません。

では１回だけマーチンゲールを実行したときを想定します。

１回のマーチンゲール(倍掛け)で負ける可能性は 25%です。

つまり、75%勝てるということにもなります。負けても 3000 円の損失です。

SATAN2 では十分に取り返せる金額です！

※上記の説明はあくまでペイアウト 2 倍での場合です。
実際、バイナリーオプションではペイアウト率が 1.85 倍程度なので、
掛け金も大きくなります。
マーチン回数が大きいと非常にリスクが高くなります。

※SATAN2 でのマーチンゲールはサイン毎のマーチンゲールではなく、
連続エントリーでのマーチンゲールとなります。

SATAN2 の勝率表示は 5 マーチンまで表示可能となっております。

以上を踏まえて、⑤の説明をさせていただきます。

上の画像は⑤を拡大した画像です。

〇サインはマーチンエントリーで勝ったサインで、

✖はマーチンエントリーで負けたサインです。

※SATAN2 の設定でマーチンなしに設定している場合は〇や✖のサインは出ません。

SATAN2 の初期設定はマーチン設定なしの設定ですので、〇や✖のサインは表示されません。

マーチン設定につきましては以下の設定の解説(**【マーチン回数】**)で説明させていただきます。

⑥の解説をします。⑥は勝率と勝敗(何マーチンで勝ったか)表示します。

```
▼ EURUSD,M5  1.09618 1.09624 1.09600 1.09610
2019.01.17～2019.09.02 を 3 マーチンで 時間帯別(1時間毎)に集計
TOTAL [ 97.4% ( 71.1%) ] W:885 (0_530, 1_207, 2_101, 3_47) , L:24 (360)
00 [ 98.0% ( 76.2%) ] W:48 (0_40, 1_ 6, 2_ 2, 3_0), L:1 (15)
01 [100.0% (100.0%) ] W:45 (0_22, 1_13, 2_ 7, 3_3), L:0 ( 0)
02 [100.0% (100.0%) ] W:34 (0_16, 1_11, 2_ 5, 3_2), L:0 ( 0)
03 [ 96.8% ( 66.7%) ] W:30 (0_17, 1_ 6, 2_ 6, 3_1), L:1 (15)
04 [ 96.4% ( 64.3%) ] W:27 (0_13, 1_ 8, 2_ 3, 3_3), L:1 (15)
08 [100.0% (100.0%) ] W: 8 (0_ 4, 1_ 2, 2_ 1, 3_1), L:0 ( 0)
09 [ 97.9% ( 75.8%) ] W:47 (0_21, 1_14, 2_ 8, 3_4), L:1 (15)
10 [ 93.2% ( 47.7%) ] W:41 (0_25, 1_ 8, 2_ 6, 3_2), L:3 (45)
11 [ 94.4% ( 53.1%) ] W:34 (0_23, 1_ 7, 2_ 3, 3_1), L:2 (30)
12 [100.0% (100.0%) ] W:34 (0_17, 1_11, 2_ 4, 3_2), L:0 ( 0)
13 [ 97.2% ( 70.0%) ] W:35 (0_19, 1_12, 2_ 2, 3_2), L:1 (15)
14 [ 97.4% ( 71.2%) ] W:37 (0_23, 1_ 7, 2_ 3, 3_4), L:1 (15)
15 [ 96.7% ( 66.3%) ] W:59 (0_35, 1_15, 2_ 7, 3_2), L:2 (30)
16 [100.0% (100.0%) ] W:76 (0_51, 1_13, 2_10, 3_2), L:0 ( 0)
17 [ 96.9% ( 67.4%) ] W:31 (0_18, 1_ 8, 2_ 4, 3_1), L:1 (15)
18 [ 98.6% ( 82.4%) ] W:70 (0_40, 1_19, 2_ 5, 3_6), L:1 (15)
19 [ 94.4% ( 53.1%) ] W:51 (0_31, 1_13, 2_ 6, 3_1), L:3 (45)
20 [ 96.9% ( 67.4%) ] W:31 (0_22, 1_ 3, 2_ 6, 3_0), L:1 (15)
21 [ 98.2% ( 78.3%) ] W:54 (0_34, 1_10, 2_ 6, 3_4), L:1 (15)
22 [ 98.0% ( 76.6%) ] W:49 (0_32, 1_ 9, 2_ 5, 3_3), L:1 (15)
23 [ 93.6% ( 49.4%) ] W:44 (0_27, 1_12, 2_ 2, 3_3), L:3 (45)
```

※上の画像はマーチン３回、１時間毎表示の場合

TOTAL は集計している期間の全体の勝率と勝敗です。

上の画像では 2019/01/17～2019/09/02 までの集計です。

()内の勝率%、L の横の()内の敗数を SATAN2 では

みなし勝率、みなし敗数と呼んでおります。

みなし勝率…マーチンでの損失分を含めた勝率

みなし敗数…通常エントリーと仮定した場合の敗数

TOTAL で見た場合、左から

全体勝率 97.4%、みなし勝率 71.1%、

885 勝(マーチンなしでの勝ち 530 勝、1 マーチン目での勝ち 207 勝、2 マーチン目での勝ち 101 勝、3 マーチン目での勝ち 47 勝)

24 敗(みなし敗数 360 敗)という意味となります。

1000 円での投資の場合、負けは 24 回だが、損失は 360000 円相当ということです。

00 時で見てみると、L：1(15)、１回の負け、損失は 15 エントリー分。

つまり 3 回のマーチンで負けているので 15000 円の損失という意味です。
(⑤で解説)

L の 1 というのは指定マーチン数での負け数となります。

※例えば 3 マーチン設定の場合、3 マーチン以内に勝てなかった数です。

()内の数字は損失が何エントリー分なのかの表示です。

```
▼ EURUSD,M5  1.09575 1.09586 1.09568 1.09572
2019.01.18～2019.09.03 を 0 マーチンで 1日毎に集計
TOTAL [ 58.1%] W：543, L：392
 9 /  3 [ 50.0%] W：1, L：1
 9 /  2 [ 80.0%] W：4, L：1
 8 / 30 [ 33.3%] W：2, L：4
 8 / 29 [100.0%] W：7, L：0
 8 / 28 [ 75.0%] W：6, L：2
 8 / 27 [100.0%] W：2, L：0
 8 / 26 [100.0%] W：3, L：0
```

このようにマーチンの設定をなしにした場合、通常の負け数のみ表示されます。

TOTAL や日にちの横のある勝率ですが、

```
▼ EURUSD,M5  1.09575 1.09586 1.09574 1.09576
2019.01.18～2019.09.03 を 3 マーチンで 1日毎に集計
TOTAL [ 97.3% ( 70.8%) ]W：910 (0_543, 1_215, 2_104, 3_48) , L：25 (375)
 9 /  3 [100.0% (100.0%) ] W：  2 (0_1, 1_1, 2_0, 3_0), L：0 ( 0)
 9 /  2 [100.0% (100.0%) ] W：  5 (0_4, 1_0, 2_1, 3_0), L：0 ( 0)
 8 / 30 [ 83.3% ( 25.0%) ] W：  5 (0_2, 1_2, 2_1, 3_0), L：1 (15)
 8 / 29 [100.0% (100.0%) ] W：  7 (0_7, 1_0, 2_0, 3_0), L：0 ( 0)
 8 / 28 [100.0% (100.0%) ] W：  8 (0_6, 1_1, 2_1, 3_0), L：0 ( 0)
 8 / 27 [100.0% (100.0%) ] W：  2 (0_2, 1_0, 2_0, 3_0), L：0 ( 0)
 8 / 26 [100.0% (100.0%) ] W：  3 (0_3, 1_0, 2_0, 3_0), L：0 ( 0)
```

TOTAL[97.3% (70.8%)]

こちらで説明すると、

トータルの勝ち負けだけで判断すると勝率 97.3%だが、

マーチンでの損失分を含めた勝率(みなし勝率)は 70.8%ということです。

※SATAN2 でのマーチンゲールはサイン毎のマーチンゲールではなく、
連続エントリーでのマーチンゲールとなります。

設定の解説

MT4 上部の**チャート→表示中のインディケータ→SATAN2 を選択→編集**
で**パラメーター入力**のタブを選択していただくと、設定ができます。

【パスワード、BTS コネクト設定】

パスワード

MT4 の口座番号(ID)を申請していただき、当方から送られてきたパスワードを入力します。

認証パスワードについては

別冊**「①MT4 の設定について」**の中の「**ユーザー情報の申請について**」を御覧ください

BTS コネクト

自動エントリーソフト BTS(BinaryOption Trade System)をお持ちの方は、
こちらにコネクトコードを入力することで自動エントリーできるようになります。

※BTS に関しましては別冊のマニュアルを参照してください。

表示される文字のサイズや位置、色なども変更できます。

コネクトコード(連動コード)を入力するとチャートの右下に表示されます。

【BTS connect ON】 0000

稼働時間停止中は BTS コネクトは自動的に OFF となります。

【エントリー方向設定】

ハイエントリーのみ、ローエントリーのみサインを表示＆集計するよう設定可能です。

デフォルトは設定なしとなっております。

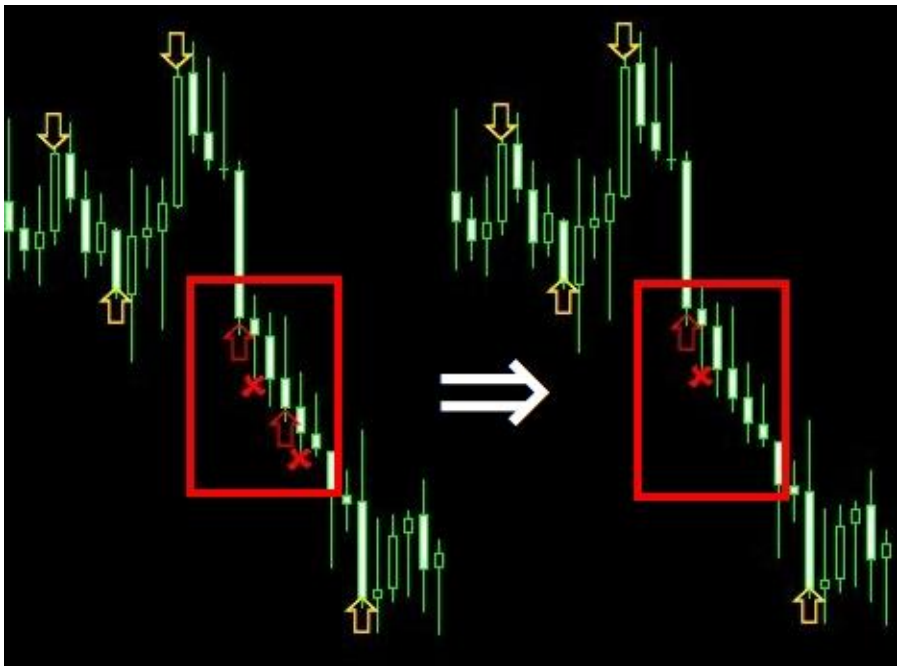
【フライングエントリー設定】

フライングエントリーというのは
ハイローでは 00 秒付近は急なレート更新等で約定拒否が起こりやすいため、
数秒早くエントリーすることで約定拒否を起こりにくくする設定です。

※約定拒否とは注文の取引が成立しないこと

【連続シグナル設定】

連続シグナルは、連続でエントリーサインが出た場合の制限設定ができます。



このような場面での負けを回避することが出来ます。
(※上の画像は連続シグナル設定を 3 本おきに設定しています)
ローソク足何本おきでサインを出すか設定します。
サインが出現後、設定した本数の間は新規のサインを出しません。
(※マーチンのサインは出現します)

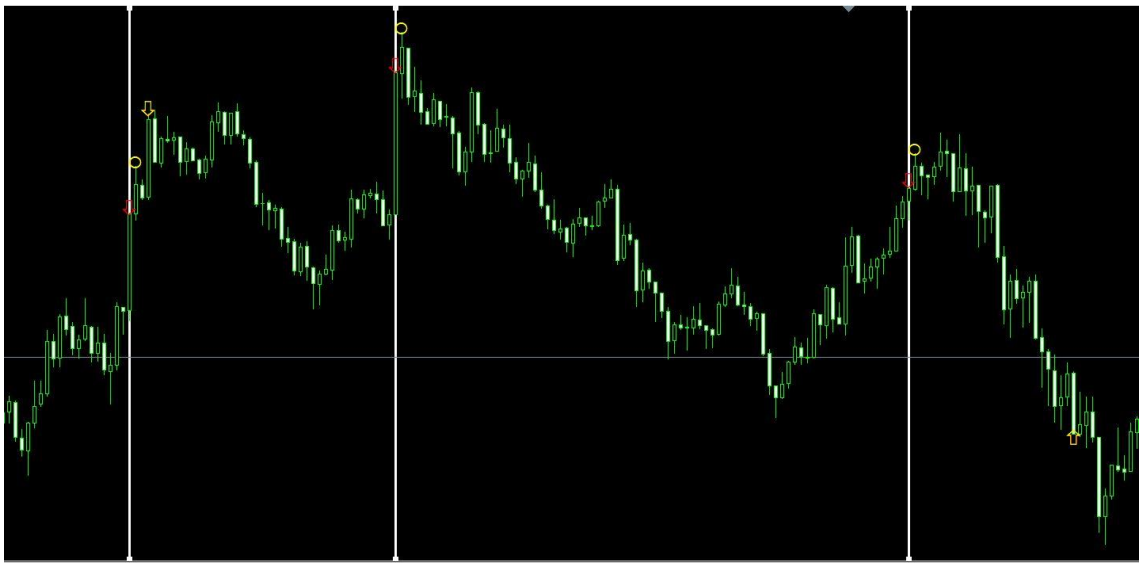
【ONE STEP】

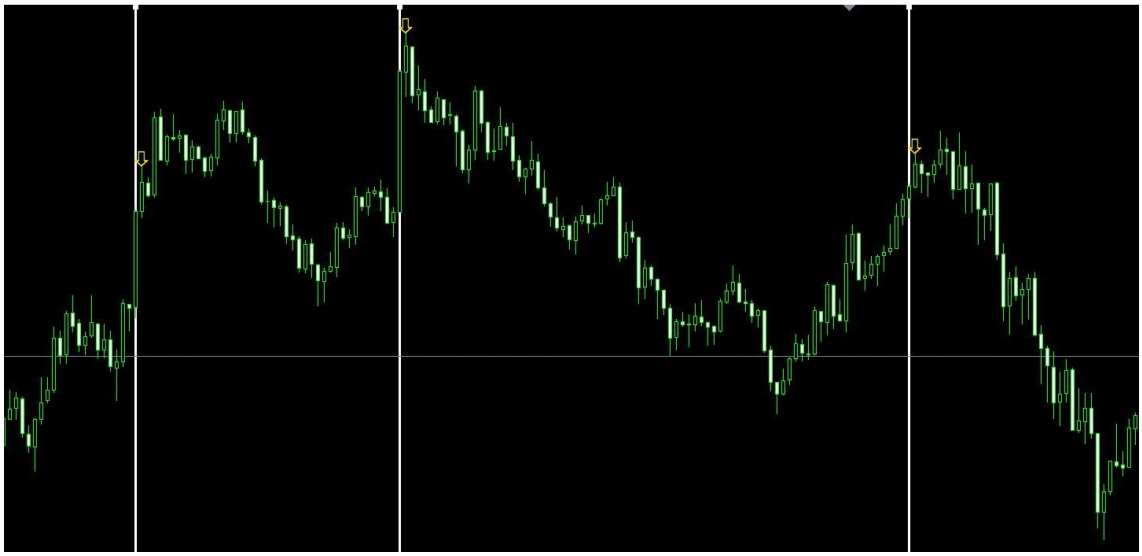
ワンステップ機能とは

⇒最初のエントリーサインでは矢印が出現せず、

最初のエントリーサインで負けた場合のみ次のローソク足で矢印が出現します。

以下の画像を御覧ください。





上の画像は通常のチャート、下の画像が ONE STEP 機能を true(ON)にした画像です。

ONE STEP を有効にした場合は１回目のエントリーサインが全て消えます。
（※もちろん１回目で勝っているサインも消えます）

１回目のサインで負けた場合、次のローソク足でエントリーサイン(矢印)が出現しているのが分かります。

これが ONE STEP 機能です。

１回目で勝っている場合でもサインが表示されないのはデメリットとなります。

その辺りを十分考慮されてからお使いください。

【WPR、RSI、CCI 設定】

バージョン情報　全般　パラメーターの入力　色の設定　表示選択

変数	値
【WPR】 LowLevelは自動反映	
期間 (0はOFF)	3
HighLevel(数字の前に－を入力してください)	-11.0
【RSI】 LowLevelは自動反映	
期間 (0はOFF)	49
適用価格	Close price
HighLevel	55.0
【CCI】 LowLevelは自動反映	
期間 (0はOFF)	0
適用価格	Close price
HighLevel	89.0

WPR、RSI、CCI の設定値を変更することで、
勝率の良い設定に変更することもできます！

HighLevel を入力するとそれに応じて LowLevel も自動設定されます。

RSI,CCI の適用価格は形成するための元となる価格を選択できます。

Close Price：終値
Open Price：始値
High Price：高値
Low Price：安値
Median Price：高値と安値の中間値（半値）
Typical Price：高値、安値、終値の平均値（ピボットレート）
Weighted Price：高値、安値、終値×２の平均値

現行レートからそれぞれの適用価格がツールの計算方法に適用されます。
特定の価格を基準にツールを表示させたいときは、設定してみましょう。

パラメーター変更後は好きなお名前で定型チャートに保存することをお勧めします。
初期のパラメーターに戻す場合はリセットボタンをおしてください。

OK　キャンセル　リセット

WPR

WPR は買われ過ぎ・売られ過ぎの水準を判断するために利用される
インジケーターです。
当日の価格が値動きの中のどこに位置するかを示しており、
当日の高値に近いほど数値が小さくなります。
逆に安値に近付くほど数値は高くなります。
単純に 0～-20％では買われ過ぎ、
-80％～-100％の間では売られ過ぎと判断することが多いです。
期間を 0 に設定することで OFF 設定にできます。

CCI

CCI も、買われすぎ、売られすぎを見るものです。
相場にはサイクルがあり、サイクル理論というもので
相場の転換点を解読していくように、一定の周期があると言われています。
完全に一定のサイクルがあるわけではありませんが、トレンドが出ている時ほど
奇麗に上下しながら相場が動くサイクルを見ることが出来ます。
このようなサイクルを前提に、価格の買われすぎ、売られすぎを判断していきます。
基本的なルールとしては
＋100 以上から 100 以下になるときにダウントレンドの始まりで、その反対に
―100 以下から－100 以上になるときにアップトレンドの始まりと捉えられます。
期間を 0 にすることで OFF 設定にできます。

RSI（相対力指数）

RSI は直近の一定期間において終値ベースで上昇変動と下落変動の
どちらの勢いが強いのか計測しようとする指標です。
通常、RSI が 70%(80%)以上であれば相場は買われすぎ、
逆に RSI が 30%(20%)以下であれば相場は売られ過ぎであると判断されます。
期間を 0 にすることで OFF 設定にできます。

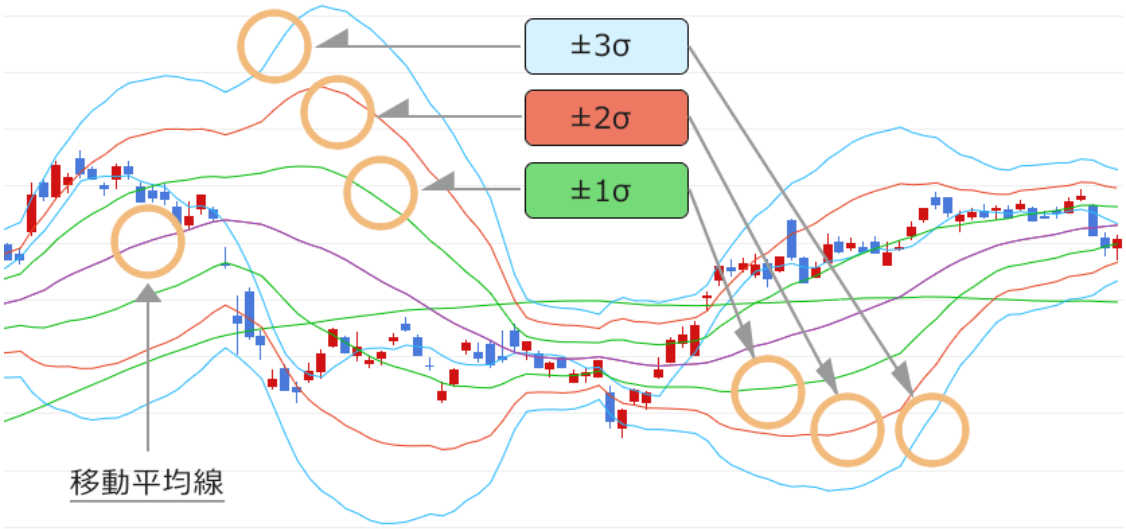
【BB フィルター設定】

バージョン情報 全般 パラメーターの入力 色の設定 表示選択

変数	値
【ボリンジャーバンドフィルター】	
適用条件	ヒゲ無しクロス
期間	24
偏差	2.1

BB フィルター

エントリー条件を満たした時にローソク足がボリンジャーバンドとクロスした時のみサインが出るフィルターです。ボリンジャーバンドとクロスしていない場合はサインが出ません。



ボリンジャーバンドは、上下にある 3 種類のσ（シグマ）バンド「±1σ・±2σ・±3σ」と、中心にある移動平均線の 7 本で構成されていて、「移動平均線を中心としたσバンドの中に、価格の推移を表すローソク足の大半が収まる」という考え方をもとに分析を行います。

ヒゲ込みクロス

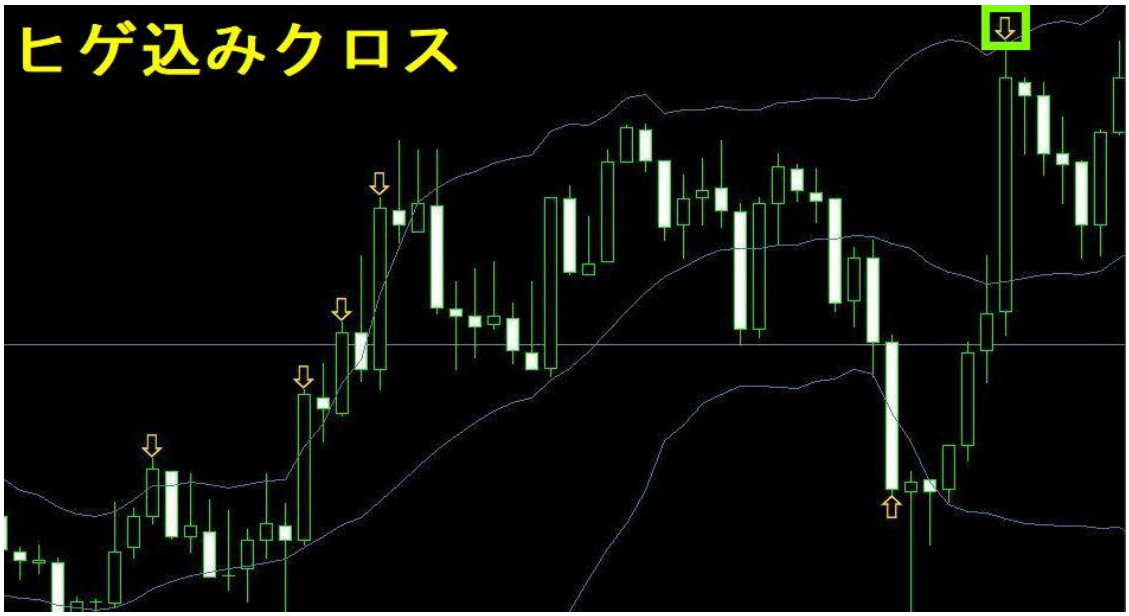
⇒サイン出現時ローソク足の髭または実体が

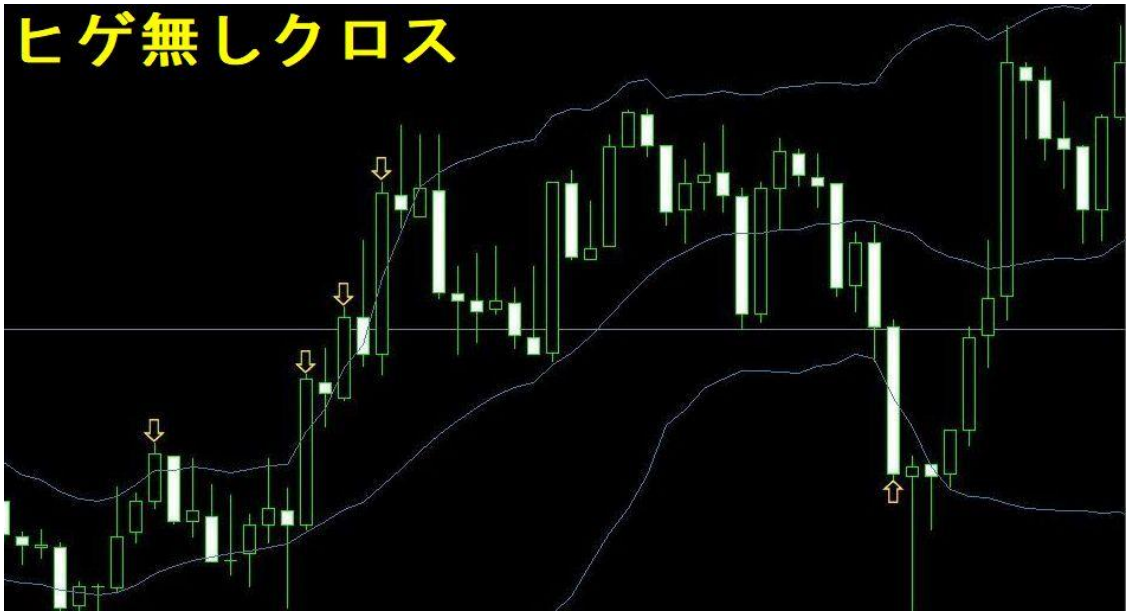
ボリンジャーバンドにクロスしローソク足が確定

ヒゲ無しクロス

⇒サイン出現時ローソク足の実体が

ボリンジャーバンドにクロスしたままローソク足が確定





ひげ込みクロスの画像の緑色の□で囲んだところを御覧になってください。
ローソク足のひげがボリンジャーバンドとクロスしているのでサインが出ています。
ひげ無しクロス設定の場合はそのポイントではサインが出ません。

ボリンジャーバンドの期間、偏差も設定可能となっております。

期間

過去何日間のデータを利用するかを入力します。
「20」と入力した場合、直近 20 日分のデータを元に設定されます。

偏差

表示するボリンジャーバンドの標準偏差(σ＝シグマ)を指定します。
「2.0」と入力した場合、「＋2σ」「－2σ」のライン設定となります。

【勝率フィルター設定】

適用条件…非適用、時間帯別(1 時間)、時間帯別(30 分)から選択できます。

非適用…勝率フィルターを適用しません。
時間帯別(1 時間)…1 時間毎に設定勝率を下回る勝率の場合エントリーを回避します。
時間帯別(30 分)…30 分毎に設定勝率を下回る勝率の場合エントリーを回避します。

許容勝率[%]…こちらで勝率フィルターのパーセンテージを指定します。
設定勝率未満時には矢印がグレーアウトし、自動売買ソフトでもエントリーしません。

エントリーキャンセルアラート…勝率フィルターでエントリーを回避した場合アラートを鳴らします。

勝率フィルターをお使いになる場合は、集計期間を少し長めに集計してください。
数ヶ月の集計期間だと勝率が頻繁に変わり安定したエントリーができません。

全体のエントリー数が少ない場合も同じです。

しっかりとエントリー数を確保した集計期間でご使用ください。

勝率フィルターをお使いになる場合は勝率表示時間設定を行わないようお願い致します。
勝率表示時間設定で表示していない時間帯(false)は勝率フィルター関係なくエントリーしません。
勝率表示時間設定は下記で解説しております。

【経済指標フィルター設定】

バージョン情報　全般　パラメーターの入力　仕様　色の設定　表示選択

変数	値
【経済指標フィルター】	
データ参照サイト	Investing.com
適用条件	★~★★★
通貨ペア関連指標のみ適用	true
○分前から停止	30
○分後まで停止	40
稼働中文字サイズ	9
位置X	2
位置Y	30
文字色	Yellow
垂直線表示	true
線種	Dashdotdot
★表示	true
★サイズ	9
重要度★★★	Red
重要度★★	Orange
重要度★	Khaki
発表終了	DimGray
取得データ表示	E
位置X	25
位置Y	30
行間	20
横配置比率 [%]	130.0
サイズ	9

経済指標発表前後のサインをグレーアウトさせ、エントリーを回避する機能です。
指標発表時にはトレンド相場になることがあり、SATAN2 の弱点であるトレンド相場を回避することができます。

データ参照サイト…Investing.com と Yahoo!ファイナンスから選択できます。
お勧めは Investing.com です。

適用条件…OFF、★～★★★、★★～★★★、★★★のみから選択できます。
OFF を選択すると指標フィルター機能を使わない設定となります。
経済指標の重要度に応じて★、★★、★★★と三段階で分けております。

通貨ペア関連指標のみ適用…通貨ペアに応じて関連する経済指標のみを表示＆回避します。
true が適用、false が非適用となります。

〇分前から停止…経済指標発表の何分前からエントリーを停止するかの設定です。

〇分後まで停止…経済指標発表の何分後までエントリーを停止するかの設定です。

稼働中文字サイズ…チャート右下の【経済指標フィルター稼働中】と表示されている文字のサイズを変更できます。

位置 X…チャート右下の【経済指標フィルター稼働中】と表示されている文字の位置を変更できます。
数値を大きくすると左へスライドします。

位置 Y…チャート右下の【経済指標フィルター稼働中】と表示されている文字の位置を変更できます。
数値を大きくすると上へスライドします。

文字色…チャート右下の【経済指標フィルター稼働中】と表示されている文字の色を変更できます。

垂直線表示…チャート上の経済指標の時間帯を表す垂直線の表示設定です。
true が表示、false が非表示となります。

線種…垂直線の種類を選択できます。

★表示…経済指標の重要度を表す★をチャート上に表示する設定です。
true が表示、false が非表示となります。チャート上の垂直線の上部に表示されます。

★サイズ…チャート上に表示する★のサイズを指定できます。

重要度★★★…重要度★★★の垂直線と星の色を変更できます。

重要度★★…重要度★★の垂直線と星の色を変更できます。

重要度★…重要度★の垂直線と星の色を変更できます。

発表終了…発表が終了した経済指標の垂直線と星の色を変更できます。

取得データ表示…チャート上でこちらで設定したキーを押すと経済指標一覧が表示されます。デフォルトはＥキーです。

位置 X…経済指標一覧の表示位置を変更できます。
数値を大きくすると右へスライドします。

位置 Y…経済指標一覧の表示位置を変更できます。
数値を大きくすると下へスライドします。

行間…経済指標一覧の行間を変更できます。
数値を大きくすると行間が大きくなります。

横配置比率[%]…経済指標一覧の文字幅の比率を変更できます。
数値を大きくすると文字間のスペースが大きくなります。

サイズ…経済指標一覧の文字のサイズを変更できます。
数値を大きくすると文字のサイズが大きくなります。

【サイン表示設定】

サインとバーの距離[pips]…ローソク足とサインとの距離を指定できます。

判定期間(決済判定までのローソク足の本数を入力)…勝敗を判定するローソク足の本数を入力します。
５分チャートで５分判定(ローソク足１本分での判定)の場合１で問題ありません。
例) １分チャートで３分判定の場合３、１分チャートで５分判定の場合５と入力してください。

マーチン回数…マーチンの回数を選択できます。
設定しない場合はマーチンなしを選択してください。

マーチン中のサイン表示…マーチン中のサインを集計に反映するかどうかの設定です。
デフォルトでは反映しない設定になっております。
マーチン中のサインを非表示(false)にした場合、集計には反映しませんが、矢印はグレーアウトで表示されます。
マーチン中のサインを表示したい場合は true に変更してください。

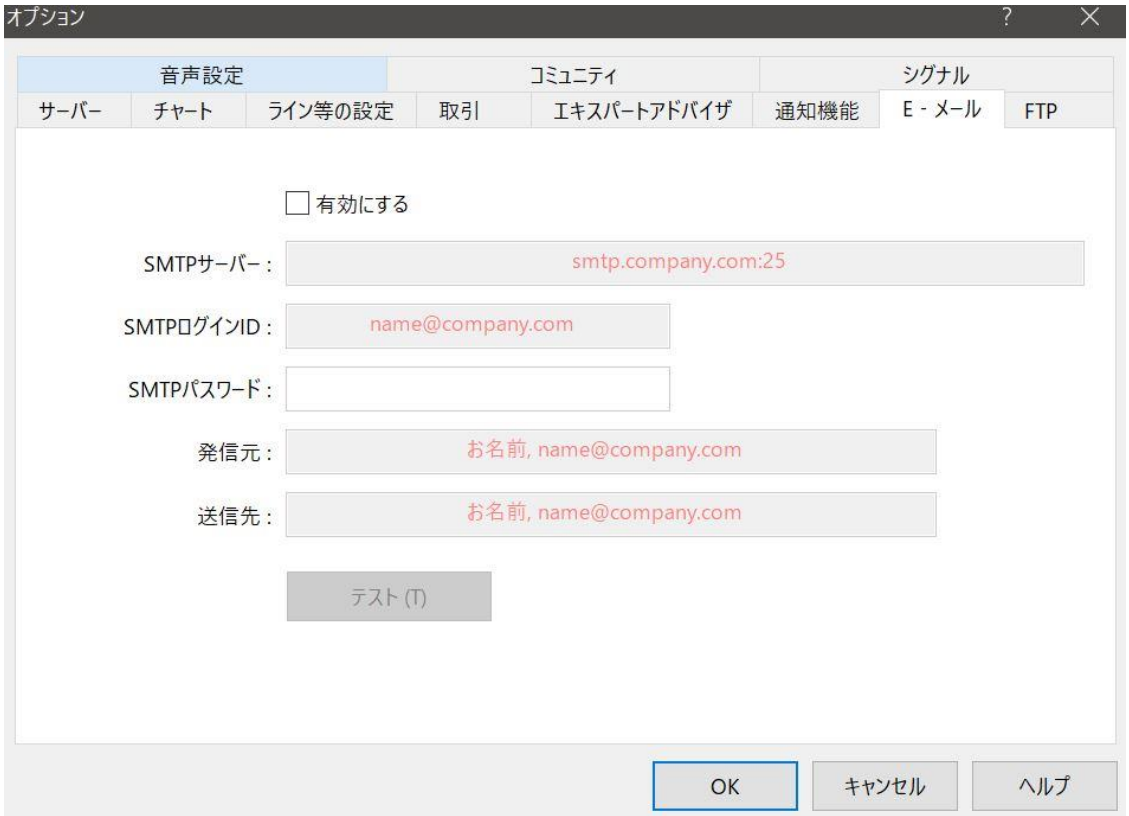
引分判定設定…判定が同値での引分の場合を、引分と判断するか負けと判断するかの設定です。
true が引分け判定、false が負判定です。

サウンド、アラート…お知らせ音(サウンド)とポップアップアラート(アラート)の設定です。
OFF、Ready(エントリー準備)のみ、Entry(エントリー)、Ready と Entry 両方
この 4 つから選択できます。

メール…サインをメール通知する設定です。

・OFF…メール送信しません
・Ready のみ送信…エントリー待機の段階でメールを送信します
・Entry のみ送信…エントリーのタイミングでメールを送信します
・Ready と Entry 両方送信…上記両方のタイミングでメールを送信します

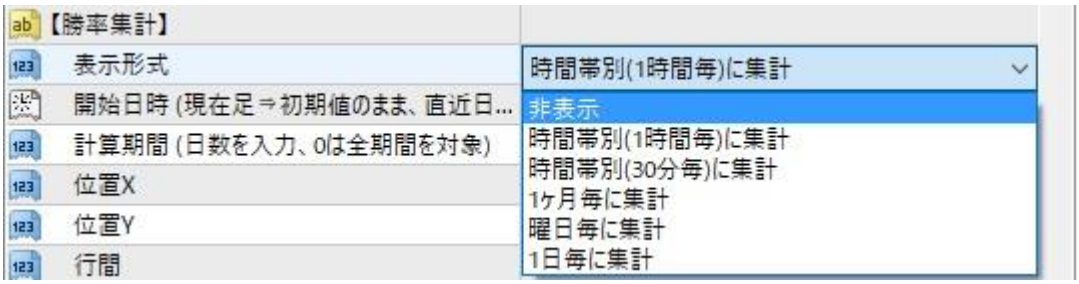
この機能をお使いになる為には MT4 上部のツール→オプションで
送信するメールアドレスを入力する必要があります。



オプションで E-メールタブを選択し、「**有効にする**」にチェックを入れ、必要事項を入力して OK ボタンをおしてください。

【勝率集計表示設定】

表示形式…チャート上の勝率集計の表示形式を選択できます。



・非表示
・時間帯別(1 時間毎)に集計
・時間帯別(30 分毎)に集計
・1 ヶ月毎に集計
・曜日別に集計
・1 日毎に集計

以上の中から選択できます。

チャート上でキーボード操作でも切替え可能です。
※以下、【表示切替キー】参照

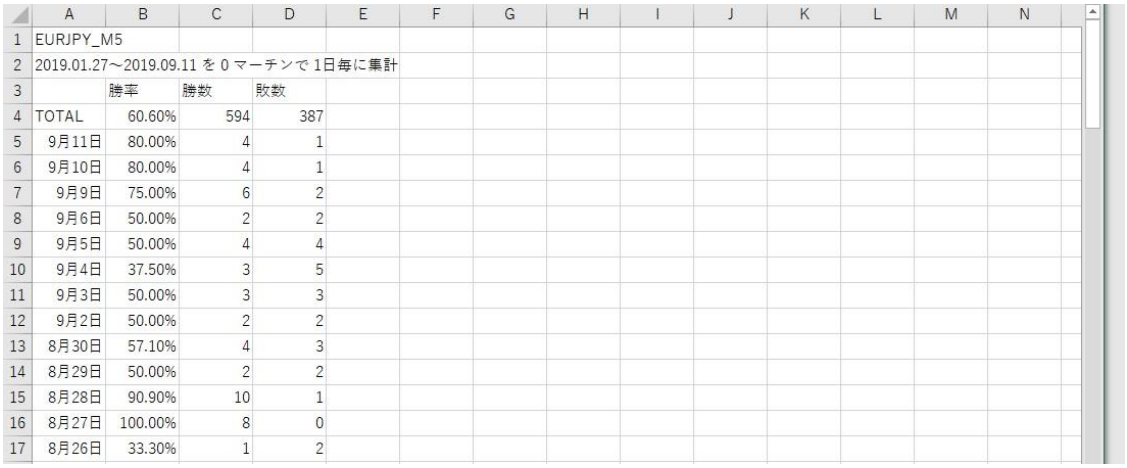
CSV 出力キー…ここで設定したキーをチャート上で押すと表示中の勝率集計を CSV 形式で出力します。

勝率を全期間 1 日毎に表示した場合、
すべての期間が表示されないことがあると思います。

このような場合に CSV ファイルとして勝率を出力する機能です！

名前	更新日時	種類	サイズ
Satan2_Result_EURJPY_M5_2019.09.10_21...	2019/09/10 21:31	Microsoft Excel CS...	2 KB
Satan2_Result_EURJPY_M5_2019.09.11_13...	2019/09/11 13:47	Microsoft Excel CS...	3 KB
Satan2_Result_EURJPY_M5_2019.09.11_13...	2019/09/11 13:49	Microsoft Excel CS...	3 KB

H キーを押すと上図のように自動的に保存先のフォルダが開きます。



	A	B	C	D
1	EURJPY_M5			
2	2019.01.27～2019.09.11 を 0 マーチンで 1日毎に集計			
3		勝率	勝数	敗数
4	TOTAL	60.60%	594	387
5	9月11日	80.00%	4	1
6	9月10日	80.00%	4	1
7	9月9日	75.00%	6	2
8	9月6日	50.00%	2	2
9	9月5日	50.00%	4	4
10	9月4日	37.50%	3	5
11	9月3日	50.00%	3	3
12	9月2日	50.00%	2	2
13	8月30日	57.10%	4	3
14	8月29日	50.00%	2	2
15	8月28日	90.90%	10	1
16	8月27日	100.00%	8	0
17	8月26日	33.30%	1	2

このように数ヶ月前の勝率でも 1 日毎の勝率を確認できます。

開始日時(現在足⇒初期値のまま、直近日時を指定)…集計の開始日時を指定できます。
初期値の場合は現在足までの集計となります。
開始日を指定し、計算期間が 0 の場合は、開始日～現在までを集計します。
計算期間が 1 以上の場合は、開始日から指定日数分までを集計します。
開始日時を初期値に戻すには下部のリセットボタンを押せば戻りますが、パラメーター設定全てが初期値に戻ります。
ですので、こちらの設定をされる場合は変更前に現在の設定を定型チャートに保存されてから変更お願い致します。

計算期間(日数を入力、0 は全期間を対象)…任意の数値を入力することで、その期間を集計します。0 を入力すると全期間を集計します。
集計範囲を拡大していない場合は 0 と入力しても集計範囲が狭いので、
ページ下部で説明している集計範囲の拡大方法を実行されてください。

位置 X…勝率集計表示の表示位置を変更できます。
数値を大きくすると右へスライドします。

位置 Y…勝率集計表示の表示位置を変更できます。
数値を大きくすると下へスライドします。

行間…勝率集計表示の行間を変更できます。
数値を大きくすると行間が大きくなります。

横配置比率[%]…勝率集計表示の文字幅の比率を変更できます。
数値を大きくすると文字間のスペースが大きくなります。

サイズ…勝率集計表示の文字のサイズを変更できます。
数値を大きくすると文字のサイズが大きくなります。

文字色…勝率集計表示の文字の色を変更できます。

文字色(許容勝率未満)…勝率フィルターの許容勝率[%]で設定した勝率未満の時間帯の文字の色を変更できます。

フォント…フォントの種類を選択できます。

フォント切替キー…ここで設定したキーをチャート上で押すとフォントの種類が切り替わります。

【キーボード操作設定】

変数	値
【表示キー切替設定】	
非表示	0
時間帯別(1時間毎)に集計	1
時間帯別(30分毎)に集計	2
1ヶ月毎に集計	3
曜日毎に集計	4
1日毎に集計	5
マーチンカウントアップ	C

【表示切替キー切替設定】

勝率表示の切り替えに関して、チャートを表示したときのキーボード操作を指定できます。

非表示…勝率を非表示にするキーボードのボタンを決めます。デフォルトは 0 。

時間帯別(1 時間毎)に集計…1 時間毎の表示をするキーボードのボタンを決めます
デフォルトは 1 。

時間帯別(30 分毎)に集計…30 分毎の表示をするキーボードのボタンを決めます。デフォルトは 2。

1 ヶ月毎に集計…1 ヶ月毎の表示をするキーボードのボタンを決めます。
デフォルトは 3 。

曜日別に集計…曜日毎の表示をするキーボードのボタンを決めます。
デフォルトは 4 。
※曜日別に集計した際に日曜に勝率表示がある場合がありますが、サマータイムの影響です。夏時間、冬時間内の期間で集計すれば表示されません。

１日毎に集計…1 日毎の表示をするキーボードのボタンを決めます。
デフォルトは 5 。

マーチンカウントアップ…マーチン回数の切り替えるをするキーボードのボタンを決めます。
デフォルトは C。

【集計時間設定】

【勝率表示時間(サイン表示連動)】

バージョン情報 | 全般 | パラメーターの入力 | 仕様 | 色の設定 | 表示選択

変数	値
【勝率表示時間（サイン表示連動）】	
【JST 0:00～0:29】	true
【JST 0:30～0:59】	true
【JST 1:00～1:29】	true
【JST 1:30～1:59】	true
【JST 2:00～2:29】	true
【JST 2:30～2:59】	true
【JST 3:00～3:29】	true
【JST 3:30～3:59】	true
【JST 4:00～4:29】	true
【JST 4:30～4:59】	true
【JST 5:00～5:29】	false
【JST 5:30～5:59】	false
【JST 6:00～6:29】	false
【JST 6:30～6:59】	false
【JST 7:00～7:29】	false
【JST 7:30～7:59】	false
【JST 8:00～8:29】	true
【JST 8:30～8:59】	true

30 分間隔で**稼働(true)**と**停止(false)**の設定ができます。

停止にした時間帯は勝率集計に反映されません。

勝率集計には反映しませんが、矢印はグレーアウトで表示されます。

例えば 5:00～5:29 と 5:30～5:59 を停止した場合、

１時間毎の集計では、５時の表示は非表示になります。

【時差設定】

【時差設定】

【時差設定】	
夏時間	6
冬時間	7

「夏時間」とは、「サマータイム」とも呼ばれており、
シンプルに説明すると、夏の期間中、時計の針を 1 時間早める習慣です。

夏時間は 1 時間早まるわけですから、
当然、平日に実際トレードできる取引時間も、
冬時間に比べて 1 時間繰り上がるということになります。

	夏時間	冬時間
東京時間	9：00～15：00	9：00～15：00
欧州時間	16：00～0：30	17：00～1：30
ニューヨーク時間	22：00～5：15	23：00～6：15

時差の設定は夏時間(サマータイム)と冬時間で時間を調整する機能ですので、
特に変更の必要はございません。

サマータイムの詳細ついては、以下のサマータイムについてを参照してください。

【エントリー時間表示設定】

【エントリーカウントダウン】

【エントリーカウントダウン】	
表示	true
位置X	5
位置Y	15
行間	22
サイズ	14
文字色	Yellow

エントリーサインが表示されると、
チャートの右上にエントリーまでのカウントダウンが表示されます。

このカウントダウンの表示設定となります。

特に変更の必要はございませんが、位置やサイズが気になる方は変更してください。

表示に関して入力する項目は以下です

位置 X…エントリーカウントダウンの表示位置を変更できます。
数値を大きくすると左へスライドします。

位置 Y…エントリーカウントダウンの表示位置を変更できます。
数値を大きくすると下へスライドします。

行間…エントリーカウントダウンの行間を変更できます。
数値を大きくすると行間が大きくなります。

サイズ…エントリーカウントダウンの文字のサイズを変更できます。
数値を大きくすると文字のサイズが大きくなります。

文字色…エントリーカウントダウンの文字の色を変更できます。

【通貨ペア切替】

リスト…こちらで入力した通貨ペアがチャートに表示されます。
通貨ペアを区切る時は「;」で区切ってください。:ではなく;です。半角です。

ボタン表示…チャート上に通貨ペア切替ボタンを表示するかしないかの設定です。
true…表示する。false…表示しない。となります。

標準位置…通貨ペア切替ボタンの表示位置を 4 つの中から選択できます。
・Left upper chart corner…左上に表示
・Right upper chart corner…右上に表示
・Left lower chart corner…左下に表示
・Right lower chart corner…右下に表示
以上から選択可能です。

位置 X…通貨ペア切替ボタンの表示位置を細かく変更できます。
標準位置設定で左に寄せている場合、数値を大きくすると右へスライドします。
標準位置設定で右に寄せている場合、数値を大きくすると左へスライドします。

位置 Y…通貨ペア切替ボタンの表示位置を細かく変更できます。
標準位置設定で上に寄せている場合、数値を大きくすると下へスライドします。
標準位置設定で下に寄せている場合、数値を大きくすると上へスライドします。

幅…通貨ペア切替ボタンのボックスの横幅を変更できます。
数値を大きくするとボックスの横幅が大きくなります。

高さ…通貨ペア切替ボタンのボックスの高さを変更できます。
数値を大きくするとボックスの高さが大きくなります。

文字サイズ…通貨ペア切替ボタンの文字のサイズを変更できます。
数値を大きくすると文字のサイズが大きくなります。

ボタン(ON)…通貨ペア切替ボタンで選択中のボックスの色を変更できます。

ボタン(OFF)…通貨ペア切替ボタンで非選択のボックスの色を変更できます。

文字(ON)…通貨ペア切替ボタンで選択中のボックス内の文字色を変更できます。

文字(OFF)…通貨ペア切替ボタンで非選択のボックス内の文字色を変更できます。

【日本時間】

標準時間目盛り非表示…チャート下部の標準で表示されている時間を非表示にできます
true…非表示。false…表示

文字サイズ…日本時間の文字のサイズを変更できます。
数値を大きくすると文字のサイズが大きくなります。

文字表示高さ…日本時間の文字の高さを変更できます。
数値を大きくすると文字の位置が上にスライドします。

文字色…日本時間の文字の色を変更できます。

背景表示高さ(ピクセル)…日本時間の背景の帯の高さを変更できます。
数値を大きくすると帯の高さが高くなります。

オセアニア…ニューヨーク市場(後半)がクローズして日本市場がオープンするまでの
オセアニア市場の時間帯の帯の色を変更できます。

日本…東京市場がオープンしてロンドン市場がオープンするまでの
時間帯の帯の色を変更できます。

ロンドン…ロンドン市場がオープンしてニューヨーク市場(前半)がオープンするまでの
時間帯の帯の色を変更できます。

ニューヨーク前半…ニューヨーク市場(前半)がオープンしてニューヨーク市場(後半)
がオープンするまでの時間帯の帯の色を変更できます。

ニューヨーク前半…ニューヨーク市場(後半)がオープンしてニューヨーク市場(後半)
がクローズするまでの時間帯の帯の色を変更できます。

H4…4 時間以上のチャートの場合の帯の色を変更できます。

日本 開始時間…東京市場がオープンする時間です。
※日本の時間を入力

ロンドン 開始時間(夏時間)…夏時間の際のロンドン市場がオープンする時間です。
※日本の時間を入力

ニューヨーク 開始時間 前半(夏時間)…夏時間の際のニューヨーク市場(前半)がオープンする時間です。
※日本の時間を入力

ニューヨーク 開始時間 後半(夏時間)…夏時間の際のニューヨーク市場(後半)がオープンする時間です。
※日本の時間を入力

ニューヨーク 終了時間(夏時間)…夏時間の際のニューヨーク市場(後半)がクローズする時間です。
※日本の時間を入力

ロンドン 開始時間(冬時間)…冬時間の際のロンドン市場がオープンする時間です。
※日本の時間を入力

ニューヨーク 開始時間 前半(冬時間)…冬時間の際のニューヨーク市場(前半)がオープンする時間です。
※日本の時間を入力

ニューヨーク 開始時間 後半(冬時間)…冬時間の際のニューヨーク市場(後半)がオープンする時間です。
※日本の時間を入力

ニューヨーク 終了時間(冬時間)…冬時間の際のニューヨーク市場(後半)がクローズする時間です。
※日本の時間を入力

集計範囲の拡大方法(超重要)

集計範囲を拡大するための方法を解説いたします。

初期の設定では３日間くらいしか集計範囲がないかもしれません。

それを数週間～数カ月まで範囲を広げることができます。

こちらの設定を正しく行わないと、SATAN2 の勝率表示が無意味なものとなってしまいます。

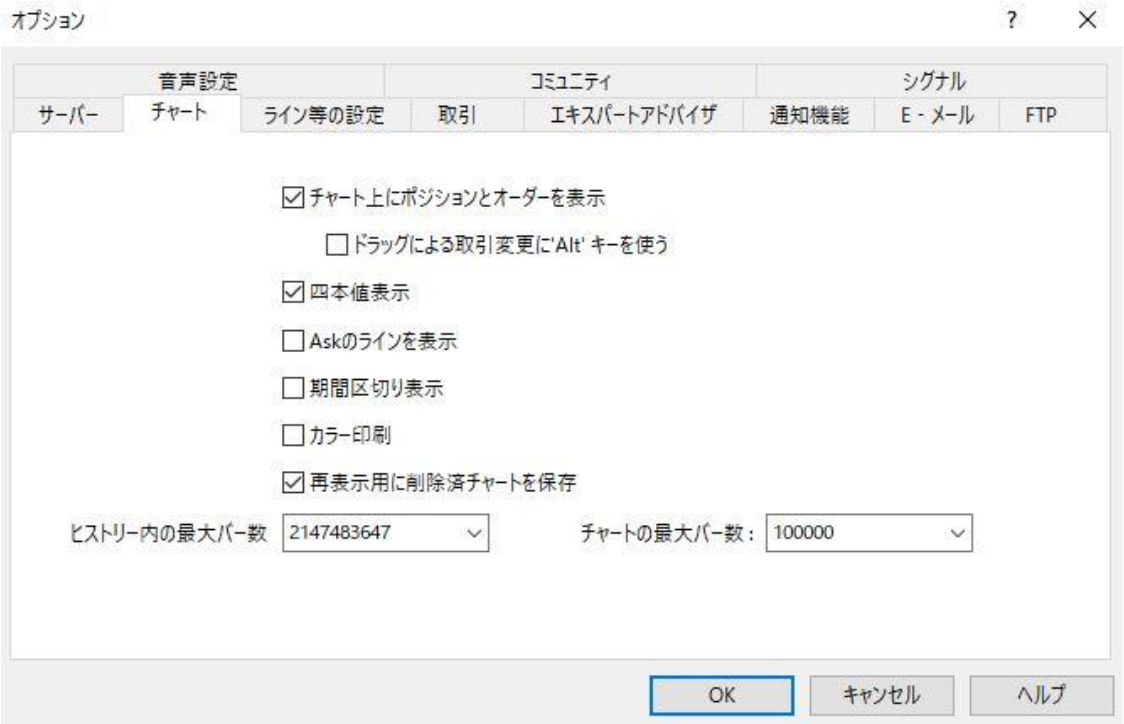
慎重に設定をお願い致します！

ヒストリー内の最大バー数,チャートの最大バー数の設定

まずは MT4 の設定から始めます。

ヒストリー内の最大バー数、チャートの最大バー数の設定を行います。

MT4 上部の**ツール→オプション**をクリックし**チャートタブ**をクリックしてください。



このような画面が表示されると思います。

ヒストリー内の最大バー数…MT4 の保存する最大のローソク足の本数です。

チャートの最大バー数…チャート上に表示する最大のローソク足の本数です。

ヒストリー内の最大バー数を

最大(2147483647)に設定します

チャートの最大バー数は以下を参考にしてください。

集計 3 ヶ月の場合…チャートの最大バー数 100000

集計半年間の場合…チャートの最大バー数 200000

集計 1 年間の場合…チャートの最大バー数 400000

上記の設定プラス SATAN2 のパラメーター入力設定で

（※MT4 上部のチャート→表示中のインディケータ→SATAN2 をダブルクリック
パラメーターの入力タブ）

【勝率集計】計算期間を以下のように設定してください。

集計 3 ヶ月の場合…計算期間 65

集計半年間の場合…計算期間 130

集計 1 年間の場合…計算期間 260

以上が目安の数値です。
足りない場合は微調整してください。

この 2 つの設定チャートの最大バー数、計算期間を設定することで任意の期間を勝率集計できます。

ただし、まだこの設定だけでは集計期間の設定だけで、ローソク足のデータがありません。
ですので、ローソク足のデータを取得しましょう。

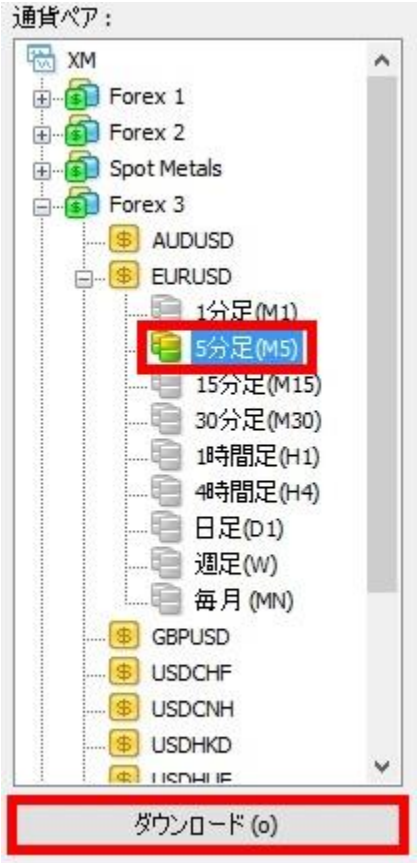
ヒストリーデータのダウンロード

ローソク足のデータを取得するためにはヒストリカルデータ（ヒストリーデータ）が必要となります

MT4 上部のツール→ヒストリーセンターをクリックします。
ここでは EURUSD の設定について説明致します。

左側の＋の部分をクリックします

EURUSD をダブルクリックします

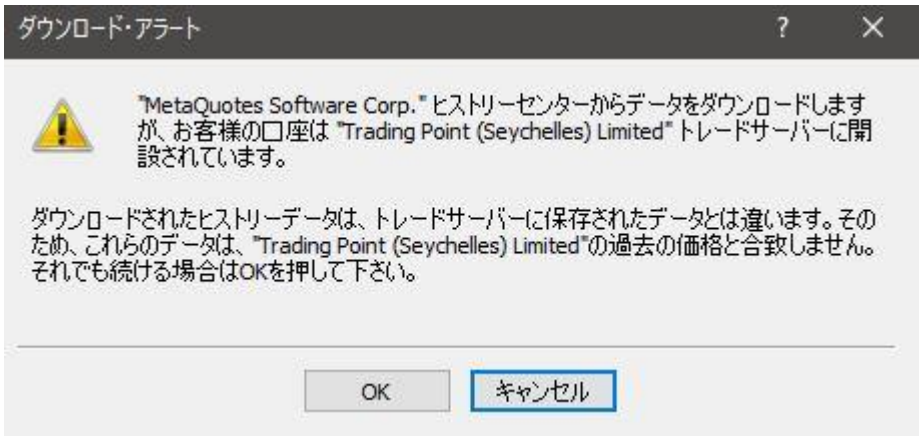


5 分足(M5)を選択しダウンロードをクリックします

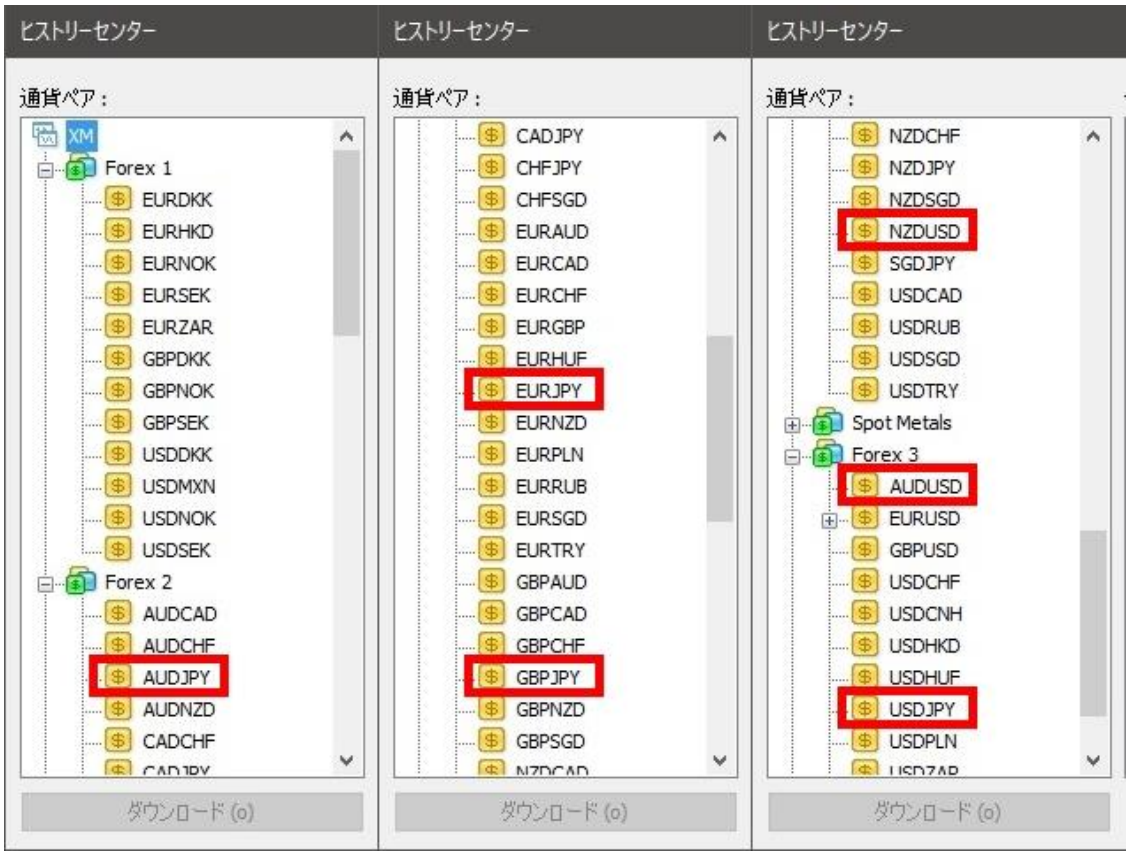
ダウンロードには時間がかかりますので、終了するまで待ちましょう。

1 分足のローソク足データを取得される場合は

1 分足(M1)を選択してください。



ダウンロードの際、このような警告が出た場合、OK をクリックしてください。



EURUSD のダウンロードが終了したら

USDJPY
AUDUSD
AUDJPY
EURJPY
GBPJPY
NZDJPY

も同じ手順でダウンロードしてください。

ダウンロードが全て完了したら MT4 を再起動してください
再起動後に 1 つの通過ペアを作成し、正しくヒストリカルデータが取得できたか確認します。

MT4 上部のファイル→新規チャート作成から、1 つチャートを作成してください。
先ほどヒストリカルデータを取得した通過ペアならどれでも構いません。

MT4 上部の M5 をクリック(5 分足のヒストリカルデータを取得した場合)
※1 分足のヒストリカルデータを取得した場合、M1 をクリック

チャートに SATAN2 を適用します。(稼働パスワードを入力)

パラメーターの入力設定で【勝率集計】計算期間を 260 に設定

OK ボタンをおしてチャートに勝率を表示させます。

キーボードの 3 を押して、月毎の勝率集計を表示します。

```
2019.04.18～2020.04.17 を 1 マーチンで 1ヶ月毎に集計
TOTAL [ 87.1% ( 69.2%) ]    W:626 (0_444, 1_182)   , L:93 (279)
 1  [ 78.7% ( 55.1%) ]    W:59 (0_39, 1_20)   , L:16 (48)
 2  [ 92.0% ( 79.3%) ]    W:69 (0_43, 1_26)   , L: 6 (18)
 3  [ 83.9% ( 63.5%) ]    W:47 (0_41, 1_ 6)   , L: 9 (27)
 4  [ 85.1% ( 65.6%) ]    W:40 (0_27, 1_13)   , L: 7 (21)
 5  [ 91.3% ( 77.8%) ]    W:63 (0_47, 1_16)   , L: 6 (18)
 6  [ 94.6% ( 85.4%) ]    W:35 (0_21, 1_14)   , L: 2 ( 6)
 7  [ 84.8% ( 65.0%) ]    W:39 (0_27, 1_12)   , L: 7 (21)
 8  [ 91.0% ( 77.2%) ]    W:71 (0_50, 1_21)   , L: 7 (21)
 9  [ 81.0% ( 58.8%) ]    W:47 (0_39, 1_ 8)   , L:11 (33)
10  [ 93.6% ( 83.0%) ]    W:44 (0_33, 1_11)   , L: 3 ( 9)
11  [ 85.7% ( 66.7%) ]    W:48 (0_27, 1_21)   , L: 8 (24)
12  [ 85.3% ( 66.0%) ]    W:64 (0_50, 1_14)   , L:11 (33)
```

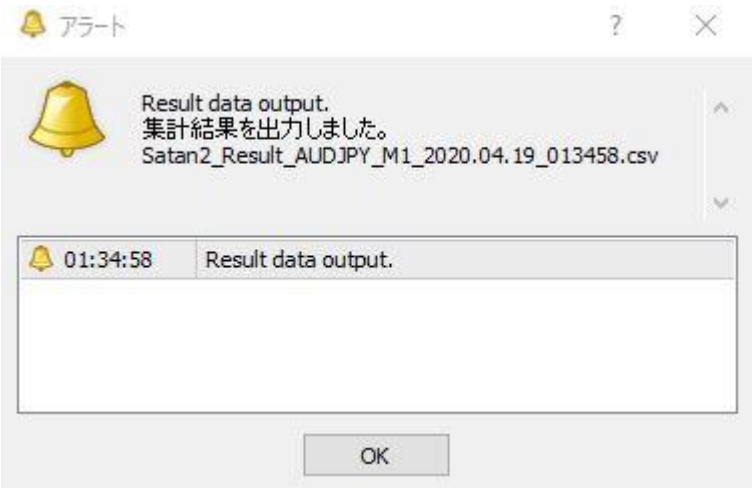
このように毎月の勝率が表示されれば問題ありません。

ただし、この場合データ抜けがあるかどうかの細かい確認ができていません。

なので、多少面倒ですが、確認する方法があります。

チャート上でキーボードの 5 キーを押して、日毎の勝率集計を表示します。

次にキーボードの H キーを押します。



日毎の勝率集計が出力されました、

フォルダが自動的に開くと思います。

エクセルで開いてもいいし、メモ帳で開いても構いません。

エクセルの場合

AUDJPY_M1							
2019.04.18～2020.04.17 を１ マーチンで１日毎に集計							
	勝率	みなし勝率	勝数	マーチン0	マーチン1	敗数	みなし敗数
TOTAL	87.10%	69.20%	626	444	182	93	279
4月17日	50.00%	25.00%	1	1	0	1	3
4月16日	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0
4月15日	80.00%	57.10%	4	2	2	1	3
4月14日	100.00%	100.00%	3	3	0	0	0
4月13日	66.70%	40.00%	2	2	0	1	3
4月10日	100.00%	100.00%	3	1	2	0	0
4月9日	0.00%	0.00%	0	0	0	1	3
4月8日	100.00%	100.00%	4	3	1	0	0
4月7日	100.00%	100.00%	1	1	0	0	0
4月6日	100.00%	100.00%	1	0	1	0	0
4月3日	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0
4月2日	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0
4月1日	50.00%	25.00%	1	0	1	1	3
3月31日	100.00%	100.00%	1	1	0	0	0
3月30日	50.00%	25.00%	1	1	0	1	3
3月27日	0.00%	0.00%	0	0	0	1	3
3月26日	100.00%	100.00%	1	1	0	0	0
3月25日	100.00%	100.00%	2	2	0	0	0
3月24日	100.00%	100.00%	3	3	0	0	0
3月23日	100.00%	100.00%	1	0	1	0	0
3月22日	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0
3月20日	100.00%	100.00%	1	1	0	0	0
3月19日	100.00%	100.00%	6	6	0	0	0
3月18日	50.00%	25.00%	1	1	0	1	3
3月17日	80.00%	57.10%	4	4	0	1	3

メモ帳の場合

```
AUDJPY_M1
2019.04.18～2020.04.17 を 1 マーチンで 1日毎に集計
,勝率,みなし勝率,勝数,マーチン0,マーチン1,敗数,みなし敗数,
TOTAL,87.1%,69.2%,626,444,182,93,279
4/17,50.0%,25.0%,1,1,0,1,3
4/16,0.0%,0.0%,0,0,0,0,0
4/15,80.0%,57.1%,4,2,2,1,3
4/14,100.0%,100.0%,3,3,0,0,0
4/13,66.7%,40.0%,2,2,0,1,3
4/10,100.0%,100.0%,3,1,2,0,0
4/9,0.0%,0.0%,0,0,0,1,3
4/8,100.0%,100.0%,4,3,1,0,0
4/7,100.0%,100.0%,1,1,0,0,0
4/6,100.0%,100.0%,1,0,1,0,0
4/3,0.0%,0.0%,0,0,0,0,0
4/2,0.0%,0.0%,0,0,0,0,0
4/1,50.0%,25.0%,1,0,1,1,3
3/31,100.0%,100.0%,1,1,0,0,0
3/30,50.0%,25.0%,1,1,0,1,3
3/27,0.0%,0.0%,0,0,0,1,3
3/26,100.0%,100.0%,1,1,0,0,0
3/25,100.0%,100.0%,2,2,0,0,0
3/24,100.0%,100.0%,3,3,0,0,0
3/23,100.0%,100.0%,1,0,1,0,0
3/22,0.0%,0.0%,0,0,0,0,0
3/20,100.0%,100.0%,1,1,0,0,0
3/19,100.0%,100.0%,6,6,0,0,0
```

基本的には土曜日、日曜日の集計はしないので、
上記出力ファイルから土曜日と日曜日の日付が抜けていても問題ございません。

ただし、土曜日または日曜日の集計が含まれる場合もございます。

(これはヒストリカルデータの取得の際に土曜日または日曜日にローソク足が表示されてしまうことがあるためです。)

ここで確認していただきたいのは、土曜日と日曜日が抜けたとしても
最大２日の抜けしかない
というところです。

もし、３日間以上の日付の抜けがある場合、ヒストリカルデータにも抜けがある

ということです。

次に注目していただきたいのが、勝率表示(勝敗表示)です。

この確認は出来るだけエントリー数が多い設定で確認していただきたのですが、
毎日必ず 10 エントリー以上ある設定で

エントリー数が極端に少ない日、
または勝率、勝敗が全て 0 の日が続いている場合は、ヒストリカルデータに抜けがあります。

ヒストリカルデータの抜けには、一部の時間だけ抜けているという場合もございます。

例）4 月 1 日の 10 時から 21 時まで抜けている場合など

もしヒストリカルデータに抜けを見つけた場合は、MT4 を再起動し、
ヒストリーデータのダウンロードを再度行ってください。

それでもヒストリカルデータの抜けが直らない場合は以下の方法をお試しください。

チャートが欠けてしまっている場合の修復方法

場合によっては、1 日毎の集計表示をしたときに、エントリーが一切ない日が続いているときがあると思います。

その場合はヒストリーデータが正しくダウンロードされていません。

このような状態になっている可能性が高いです。

その場合の修復方法をご説明します。

まず、上図のようなポイントを探します。
(1 日毎の集計表示にして集計の 0 が続いている最初の日または、抜けている日を探します)

上記で説明したデータ出力から探し出しても問題ございません。

おおよその日にちが分かったら

MT4 上部の**ツール→ヒストリーセンター**をクリックしてください。

チャートが欠けている通貨ペアを選択します。

5 分足をダブルクリック(**もし 5 分足で修復できない場合は 1 分足をダブルクリック**)**※1**して、ヒストリーデータを表示させます。

チャートが欠けている境目を探します。

上図では赤枠で囲んだところです。それを **1 度クリック**します。

スクロールして一番上のヒストリーデータに戻り、Shift ボタンを押したまま
最上部のデータをクリック

すると上図のようにチャートが欠けているところから最新のデータ分が全て選択されます。

そして**1度だけ**削除ボタンをクリックします。

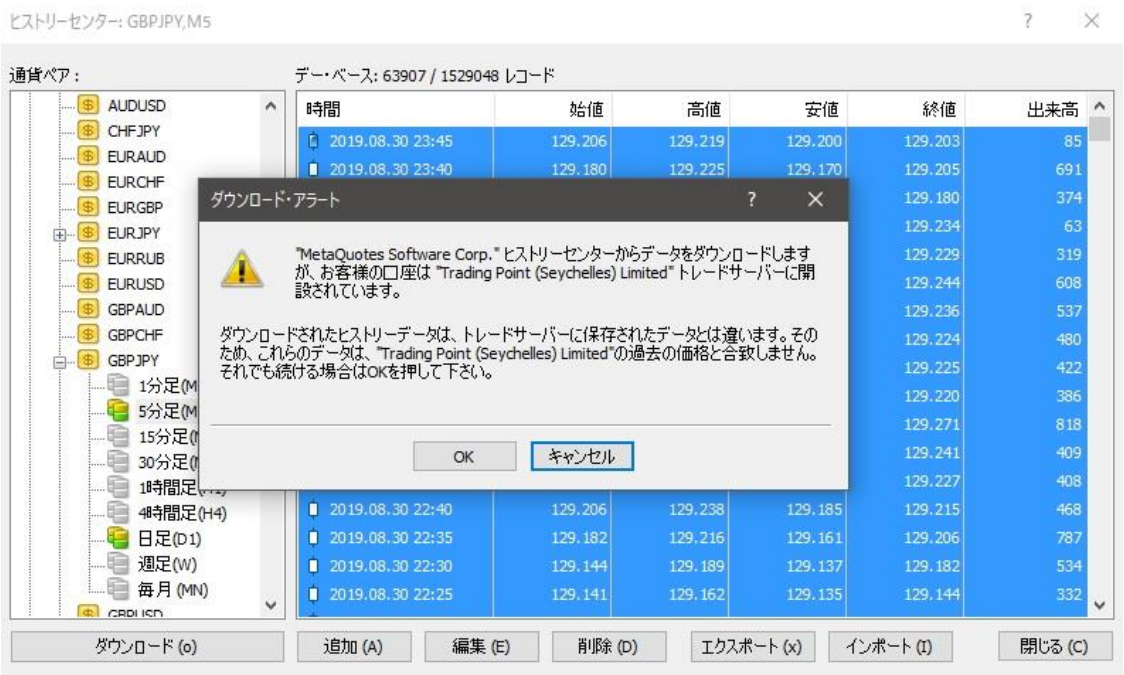
すると上図のように削除されます。**※2**

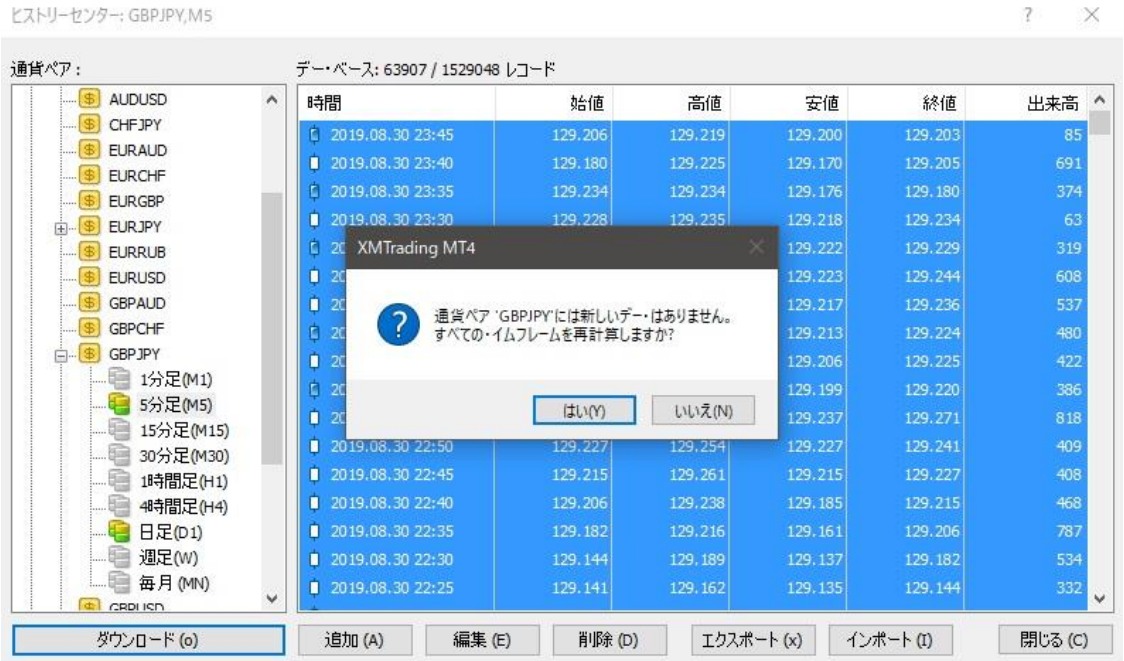
閉じるボタンを押して、MT4 を再起動します。

この段階でチャートが正常に表示される方もいらっしゃいます。

正常に表示されない場合は、**※2 までの作業を再度行い**、

ダウンロードボタンをクリックしてください。





その際、上図のような警告が表示されたら、OK と**はい**をクリックしてください。

これで MT4 を再起動してください。

それでも正しく表示されない場合は 1 分足を選択し、上記の作業を行ってください。

(※1 のところで 1 分足を選択してください)

MT4 ヒストリカルデータ遠隔サポート

上記方法で解決しない方や、設定が分からない方のために
SATAN2 サポートでは、MT4 のヒストリカルデータの導入サポートを行っております。

有料サポートではございますが、**正しいヒストリカルデータでなければ、SATAN2 の良さを最大限に発揮できません！**

設定にお困りの方は是非ご利用ください。

【MT4 ヒストリカルデータ】遠隔サポート

http://satan.kill.jp/satan2-mt4/

詳細は上記 URL をクリックしてご確認ください。

MT4 ヒストリカルデータ取得後の設定

1 年間の集計で勝率を判断してエントリーしたいけど、計算期間を 260 でチャートを動かすととても重いという方のため、おすすめの設定方法をお紹介致します。

手順①　1 年間分のローソク足表示(チャートの最大バー数 400000)& 1 年間の集計(計算期間 260)で SATAN2 の勝率表示時間の設定をします。
例）勝率 60%未満の時間帯は false

手順②　勝率表示時間の設定が完了したら、
チャートの最大バー数 400000→100000
計算期間 260→65

に変更します。
もっと軽くしたい場合はさらに数値を減らしても構いません。

変更後は MT4 を再起動してください。

チャート上の勝率で 60%未満の時間帯もあると思いますが、上記はあくまで 1 年間を対象とした勝率設定ですので、そのままで大丈夫です。

計算期間を何日にするか、勝率表示時間を勝率何%以下で停止(false)にするか

その辺りの選択で同じパラメーター数値(WPR,RSI,CCI 数値)でも実勝率は大きく変わってきます。

SATAN2 の矢印についてのおさらい

チャートを見ていただくと、黄色の矢印や赤色の✖など色々表示されていると思います。
どのような意味を持つのか上記で説明しましたが再度説明させていただきます。

１回目のエントリーで勝ちは黄色矢印

１回目のエントリーで負けは赤色矢印

マーチン設定をしている場合、２回目以降での勝ちは黄色の〇

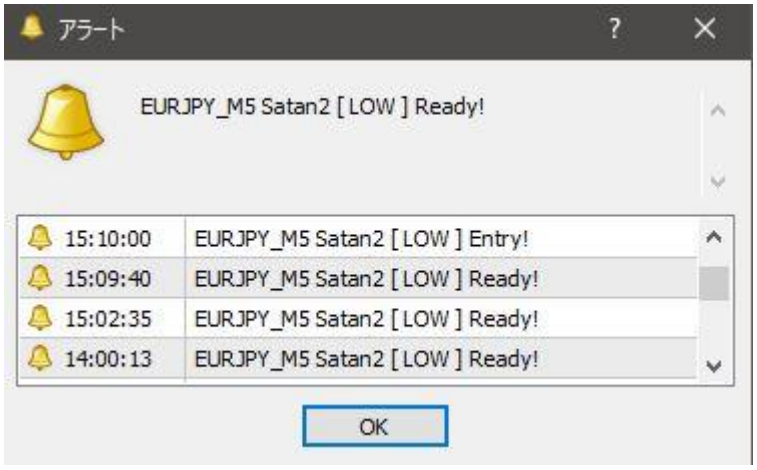
マーチン設定をしている場合、２回目以降での負けは赤色の✖

停止時間中の矢印はグレーアウトしております。

停止時間中のサインは勝率には反映されません。

ポップアップアラートに関して

SATAN2 の起動パスワードを入力していないと上の画像のようなアラートが表示されます。

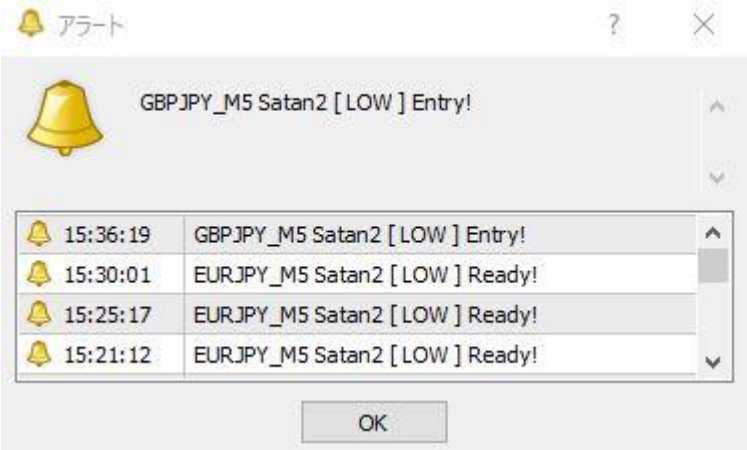


上の画像の Ready!アラートは手動エントリーするための準備アラートとなります。

自動売買される場合は関係のないアラートとなります。
自動売買ソフトでは、この段階では自動エントリーされません。

手動エントリー時は Ready!アラートが表示された場合、エントリー準備をしてください。

※ここではまだ手動エントリーしません。



上の画像がエントリーアラートです。
Entry!と表示されます。

ポップアップと同時に矢印サインも出現します。

Absol7 と連動済の場合、このアラートが表示されると自動でエントリーされます。

手動でのエントリー時もこのアラートでエントリーします。

Satan2 の重複使用について

Satan2 を重複して使用いたしますと誤作動の原因となります。

このような使い方はしないようお願い致します。

１つのチャートに Satan2 のインジケーターは１つだけ適用してください。

定型チャートから読み込んでいただければ場違いはないと思いますので、
できるだけ定型チャートから読み込んでお使いください。

サマータイムについて

アメリカ・ヨーロッパでは日本にはないサマータイムが導入されています。

年 2 回夏時間と冬時間が入れ替わるので覚えておきましょう。

米国の夏時間：3 月第 2 日曜日～11 月第 1 日曜日（それ以外は冬時間）

ヨーロッパの夏時間：3 月最終日曜日～10 月最終日曜日（それ以外は冬時間）

国	夏時間の期間
アメリカ	3月の第2日曜日～11月の第1日曜日
ヨーロッパ	3月の最終日曜日～10月の最終日曜日
オーストラリア	10月の第1日曜日～4月の第1日曜日
ニュージーランド	9月の最終日曜日～4月の第1土曜日

出来るだけ集計はサマータイムが切り替わってからの集計にしてください。
そうすれば勝率の良い時間帯だけの表示で問題ありません。

SATAN2 自体の勝率表示に関しては、問題ございません。

SATAN2 は夏時間、冬時間の変更に自動で対応しております。

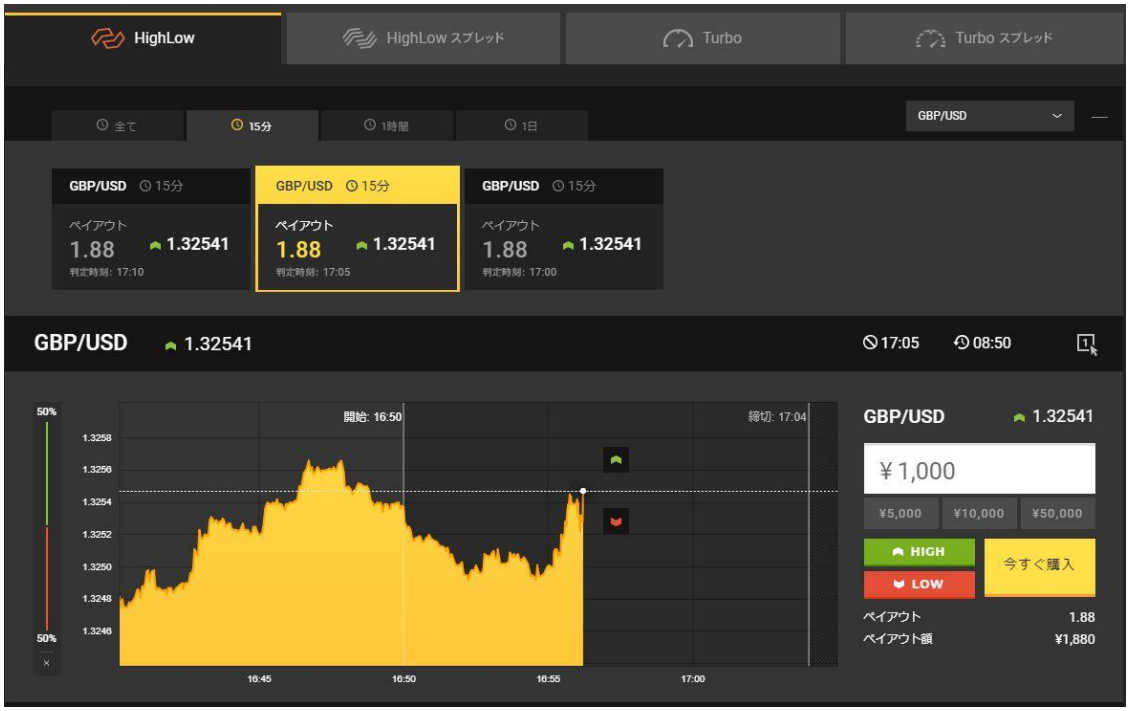
手法の解説(自動エントリーを使用しない方)

いよいよ手法の解説に参ります。

この手法は相場の一瞬の転換を狙う逆張り手法です。

推奨は５分チャートを使用し、HighLow の残り時間５分以上１０分未満のところを開きエントリー待機です。

MT4 の５分チャートにエントリーサインが出て、残り５分と同時にエントリーです。



５分チャートを推奨する理由は１分よりも格段に勝率が高いのと、エントリーまで十分余裕が持てるからです。焦ってエントリーする必要はございません。

あまりトレードに時間を割きたくない方は複数の通貨ペアでのトレードをしましょう。

ターボではなく HighLow を推奨する理由はペイアウトが高いからです。

では、以下の画像をご覧ください。

エントリー条件を満たすと、アラートが鳴り、画像右上にエントリーまでの時間が表示されます。(小さくてすいません)

エントリーまでのカウントダウンが 0 になり、矢印が表示されたのを確認してエントリーしてください。

それだけです！とても簡単です！

事前にエントリーまでのカウントダウンが出るので、余裕を持ったエントリーができます。

指標フィルターを設定している場合は
チャート上に縦線が表示されていると思いますので、
回避するかエントリーするか、しっかりと判断してください。

以上をしっかりとご確認の上、エントリーをお願いします。

【手動マーチンエントリーについて】

マーチン設定をされている場合は

１回目のエントリーサイン(矢印)で負けた場合、連続してエントリーアラートが出ます。

※連続エントリー禁止設定をされていても、マーチン設定されていると連続でエントリーサインが出ます。

マーチンでのエントリーをされる場合は、１回目のエントリーサインで負けた場合、
速やかに２回目(**倍掛け**)のエントリーをしてください。

１回目のエントリー終了のタイミングで２回目(**倍掛け**)のエントリーを行ってください。

勝ちか負けのどちらか微妙な場合は、結果をしっかりと見て２回目(**倍掛け**)のエントリーをしてください。

２回のマーチンを設定されている場合も同じく、２回目のエントリー終了後に
３回目のエントリー(**２回目の倍の金額でエントリー**)してください。

マーチンエントリーの勝率は高いですが、リスクも高いです。

資金が少ない場合の無謀なマーチン設定はやめましょう！

リスクが高いと思われる方はマーチン設定をオフ、または１にしてください。

【SATAN2 コミュニティの紹介】

SATAN2 では、購入者様専用のコミュニティグループを用意させていただいております。

このコミュニティは購入者様なら誰でも無料で参加できます！

メンバーになっていただければ、SATAN2 関連の情報を先行で入手できたり、割引で購入することができるかも！？

SATAN2 の使い方が分からない場合もコミュニティでご質問いただければ即座に回答させていただきます！

とにかくメリットだらけの SATAN2 コミュニティに是非ご参加ください！

SATAN2 コミュニティに関しましては別冊の

【SATAN2 コミュニティ Discord の使い方】

を御覧ください。

お問い合わせ

担当：松本真吾

✉お問い合わせ：info@deamonspear.com

住所：〒847－0074
佐賀県唐津市東町 19－3
エスペランサ唐津東 204 号

電話番号：080-1704-0512
（※電話でのサポートは行っておりません）

Copyright © 2019 SATAN inc. All Rights Reserved